



唐崎のきずな

No. 91 カトリック唐崎教会
2024年2月18日



「十字架にいる方は誰ですか？」

ソ・ウォンハ神父

滋賀ブロックに来て意外なことで困ったことがありました。それは幼稚園の宗教の話です。昔からイタズラが好きだった私にとっては、触れることすら恐い園児は天敵で苦手でした。あまり話したこともないのに授業みたいな宗教の話を園長先生から頼まれたときは「何を話す？ どう伝える？」などで頭が真っ白になりました。これと言った目標もなく何とか毎月、テーマを一つ考えながらギリギリの話を続けていました。

そんなある日、隣の草津にある聖パウロ学園から中高生に向けて宗教の話を頼まれました。神様の働きだと信じて受け入れましたが、またテーマで悩みそうなので、何人かの生徒と話し合いながら事前調査(?)を行いました。5人の生徒と出会い、少し驚いたことがありました。5人の中にはカトリック系の幼稚園、子供園を卒園した生徒がいました。彼らは園での祈り、卒園前のクリスマス会(聖劇)などをかなり覚えていました。しかし、彼らが覚えている、記憶に残っている「イエス様」は赤ちゃんのままでした。改めて彼らに聞いてみました。「十字架にいる方は誰ですか？」彼らは答えました。「カトリックの神様と聞きました。誰ですか？」

この出会いのお陰で私は幼稚園の宗教の目標が立てられました。皆が覚えている、世界を造り愛のためにこの世界に、馬小屋にお生まれになったイエス様が十字架にいる方と同じ人物であることを伝えることです。でも、まだ宿題は盛りたくさんあります。十字架のお話をどう伝えるかです。憎しみと嫉妬を乗り越える赦しの話を素直な園児にどう話すか？新しい絆の宿題を頂きました。

この宿題に皆さんを是非、招待したいと思います。まず皆さんが覚えている、記憶に残っている神様はどんな方ですか？2千年前の方ですが、どんな繋がり、絆がありましたか？神様が雲の上の存在とか、あまり繋がりのない方としていないように、もう少し皆さんとの繋がりを深めてみてください。

十字架にいる方は誰ですか？